

「発表する力」と「聞〔聴〕く力・見る力」 すばらしき対面式から考える

4月13日(金)、2、3年生の生徒会が企画した対面式が行われました。残念ながら私は、校長会の出張で参加することができませんでした。実は、前日から「校長先生、長中の対面式はすごいですよ。是非見てほしいです。」と多くの先生方から声掛けしていただきました。先生方が皆さんを本当に信頼し、誇りに思っている事が手に取るように分かりました。当日、出張での仕事が終わりに、学校に電話すると、今年度から赴任した八巻教頭先生が「校長先生、やっぱり対面式はすごかったです。」と本当に嬉しそうに報告してくれました。残念な気持ちがさらに深くなってしまいましたが、16日(月)の朝、高橋宏明先生から「校長先生、ビデオ撮影したので見てください。」と対面式の様子を映したCDを渡されました。さっそく見せてもらいました。

委員会、部活動、ダンス、応援等の皆さんの洗練された発表を見ていると嬉しさがさらに沸き上がりました。この日のために、2、3年生の皆さんが心をこめて創り上げたものだという事がビデオを通して伝わってきました。真剣に創り上げたものは、やはりビデオというフィルターを通して、伝わってくるものですね。

さらに嬉しかった事は、発表している皆さんだけでなく、それを受け入れる側の態度です。1年生だけではなく、2、3年生の皆さんの見る側、聞〔聴〕く側の態度が素晴らしかったことに心を打たれました。一生懸命に発表している人がいる時、それを引き立てたり、盛り上げたりするのは、受け入れようとする側の態度です。対面式だけでなく、生徒総会や合唱コンクール等、あらゆる行事に大切なのは、発表する側と受け入れる側の両者が協力することによって成功に導かれるという事です。授業も同じですね。発表者がいて、その意見を聞〔聴〕くことによって、「そんな考えがあったのか」「自分とは違う意見だけど、それもひとつの考えだなあ」等、自分の考えが広がっていきます。是非、授業でも多くの意見を交わし、耳を傾けながら、自分の世界や価値観を広げてほしいと思います。あいさつや感謝の気持ちを表現する事もコミュニケーション力ですが、発表したり、それを受け入れたりできる事はさらに高い次元のコミュニケーション能力です。話すことだけがコミュニケーション能力ではありません。

長町中学校では、今年度「**氣付き、考え、やり遂げる生徒**」「**認め合い、関わり合う生徒**」になってほしいという目標の基に、生徒の皆さんと先生方で、よりよい学校づくりをしたいと考えています。対面式は、その目標を達成していくための大きな原動力の一つになったと思います。今後も皆さんの力を大いに発揮してください。

発表やプレゼンを成功に導くのは 聞〔聴〕く側の力と態度です

